

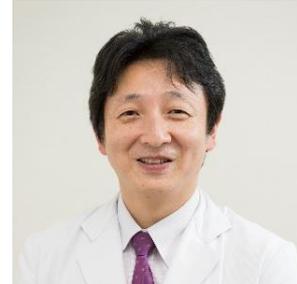
■ 動画 1

「科学的根拠に基づく医療（EBM）とメディカルリテラシー」

ささき じいちろう
佐々木 治一郎 先生

北里大学医学部附属新世紀医療開発センター 教授

1991年 熊本大学医学部卒。熊本大学大学院在籍中、長男の白血病治療の血縁ドナーの経験を持つ。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医。2000年～2003年 米国 MD アンダーソンがんセンターに留学。2007年 熊本大学医学部附属病院がん診療センター長就任を契機に、熊本県のがん診療地域連携やがんサロンの普及活動に従事。2011年 北里大学医学部へ異動し、2014年2月より現職。緩和ケアやがんゲノム医療の診療の傍ら、ピアサポートやサバイバーシップケアなどがん患者・家族を支える仕組み作りと人材育成を目標に研究・教育にあたっている。



*収録:2024年8月

■ 動画 2

「患者さんから『健康食品を使ってみたい』と相談されたら、どう対応すればよいのか？」

おおの さとし
大野 智 先生

島根大学医学部附属病院 臨床研究センター 教授

1998年島根医科大学卒業。2002年同大学院修了(医学博士)。その後、金沢大学、帝京大学、大阪大学等を経て2018年より現職。2022年より副病院長(安全管理担当)、2024年より緩和ケアセンター長を兼務。これまでに「『統合医療』情報発信サイト[eJIM](厚労省委託事業)」「がんの補完代替療法クニカルエビデンス(日本緩和医療学会)」の作成に従事。近著に「東洋医学はなぜ効くのか(ブルーバックス)」などがある。



*収録:2024年8月

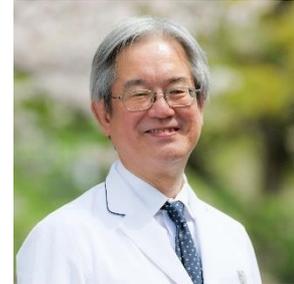
■ 動画 3

「サイコオンコロジー(精神腫瘍学)とは？」

あけち たつお
明智 龍男 先生

名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授

私は精神科医なのですが、長くがん専門病院でサイコオンコロジーというがんの患者さんのメンタルヘルスに関する領域の臨床、研究、教育に従事し、大学に移っても、これらをライフワークとしております。特にがんの患者さん、ご家族の精神心理的苦痛をやわらげるための心理社会的な介入を専門にしております。現在は、臨床、教育の傍ら、一人でも多くの患者さんに適切な精神心理的なケアが届けられるようにスマートフォンなどのデジタルデバイスを用いた支援法の開発研究などにも取り組んでいます。



*収録:2024年7月

■ 動画 4

「緩和ケアと支持医療のこれまでとこれから」

わたなべきよたか
渡邊 清高 先生

帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 教授

東京大学医学部卒。医学博士。東大病院消化器内科、国立がん研究センターがん対策情報センターを経て2014年より現職。がん薬物療法専門医、消化器病専門医、肝臓専門医、総合内科専門医など。さまざまな学会における患者・市民向けプログラムの企画に参画。がん対策や政策研究に加え、がん支持医療や緩和ケアに関する信頼できる情報づくりと地域での連携を推進するプロジェクトリーダーとして、市民目線・現場視点での普及に取り組んでいます。



*収録:2025年4月

■ 動画 5

「医療分野の研究開発における患者・市民参画(PPI)～共に進めていくことの重要性～」

あんどう やよい
安藤 弥生 先生

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
臨床研究支援部門研究企画推進部臨床研究支援室/血液腫瘍科

国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門研究企画推進部
臨床研究支援室

2011年岐阜大学卒業。2016年より国立がん研究センター中央病院の内科レジデント。2019年厚生労働省健康局がん・疾病対策対策課、大臣官房厚生科学課に出向し、がん医療施策や医療分野の研究開発の推進に携わる。2021年より同院臨床研究支援部門に配属、医師主導治験やそれ以外の臨床研究の立案・支援に携わっている。



*収録:2025年4月

■ 動画 6

「がん患者支援活動をするにあたり心に留め置くとよいこと
(個人情報法令順守とバウンダリー)」

ひらい こころ
平井 理心 先生

筑波大学附属病院 公認心理師/臨床心理士
医療メディエーターS 認定(Senior Trainer)
茨城県院内臓器移植コーディネーター
心理士ジェネラル・リスク・マネージャー



大学病院において医療安全に携わり、患者相談や医療メディエーション、コンフリクト・マネジメントなどに取り組む。医療事故時の患者家族や職員ケア、怒りのマネジメントにも精通し、講演・執筆活動を行う。患者・家族・医療者の架け橋となる支援を目指し、多職種協働を推進している。

*収録:2025年4月

■ 動画 7

「患者支援のさまざまな資源 ～がん相談窓口の活用ついて～」

きたみ ともみ
北見 知美

公益財団法人日本対がん協会 相談支援室 マネジャー 社会福祉士
病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務したのち、2006年に日本対がん協会に入職。がん患者・家族の支援事業のひとつである、無料の電話相談「がん相談ホットライン」で相談員を務める。がん患者・ご家族はもちろんのこと、がんに関する不安や心配がある方なら誰でも利用できる相談窓口として、年末年始を除く毎日、相談を受けている。



*収録:2025年5月

※ 各講演タイトルは2025年4月1日時点のものです(仮も含まれます)。
プログラムおよび講師は都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

以上

希望と共に生きる
がんサバイバー・クラブ